

令和4年度岡山県認知症対策連携会議 議事要旨

開催日時 令和4年1月26日(木) 17:00~18:30
開催方法 ZOOM(オンライン)
出席者 宮本委員、林委員、森田委員、名賀石委員、宗宮委員、石津委員、
中島委員、中塚委員、藪野委員、矢庭委員、磯田委員、宇野委員、
安藤委員、高木委員、砂田委員、小幡委員代理、高山委員、宗田委員、
塩飽委員、岩瀬委員

- 1 開 会
- 2 あいさつ(國重福祉政策企画監)
- 3 副会長の選任について
副会長に高木委員が互選により選任された。
- 4 議 題(進行 中島会長)
 - (1) 岡山県の認知症施策について
(説明:長寿社会課)

【委員の意見等】

委 員: 県が作成するパンフレットは現行のものの改訂か。国の要請か。

事務局: 包括的なものとしては初めてつくる。認知症の診断後に、福祉へのアクセスがうまくいっていないという意見をいただき、アクセスできる仕組みをつくらうと考えたものである。

委 員: 診察した窓口で、本人のみならず家族にも正確な情報を伝えることを念頭に作成されたい。

委 員: パンフレット作成に賛成だ。家族会が良いパンフレットを作成しており、こういうものをつくってほしい。

委 員: 既に色々なところから多くのパンフレットが出ている。そういうものを集約してわかりやすいのが一番よい。

委 員: 若年性認知症に触れていないパンフレットが今もあるのか。信じられない。

事務局: 市町村が作成するパンフレット(ケアパス)で、若年性認知症に触れているものは多いが、支援制度等の情報提供はできていないところもあり、県のパンフレットでカバーしたい。

(2) 各団体の取組等について

(説明：出席者が各団体の取組を説明)

【委員の意見等】

委員：若年性認知症は65歳未満で発症し、家族から運転免許をどうするか相談が寄せられる。65歳未満の方には、自主返納しても愛カードは出ないのか。

委員：岡山愛カード事業は65歳以上。一方運転経歴証明書は1,100円費用がかかるが、年齢制限なく、全国の協賛事業所で使える。

委員：運転経歴証明書は一般の方に知られていないと思うが、愛カード同様にチラシ等はあるのか。

委員：県警ホームページに掲載している。愛カードを特に広報しているのは、高齢者の事故死亡者が昨年44人、構成率6割と高いことから、高齢者ドライバーの死亡事故の抑止のためであり、認知症の方の支援ということでの広報はしていないのが現状だ。

委員：若年性認知症の人数は大した数ではなく、愛カードを65歳以下も発行するよう変えていけばよい。

委員：事業者に負担をお願いしている。公的事業で対応いただければ。

委員：65歳以上を「原則」とし、状況に応じて発行いただければありがたい。

(3) その他

委員：歯科の受診予約を間違えることをきっかけに認知症が発見されるケースが多い。県が作成するパンフレットを歯科にも配布いただきたい。

委員：認知症の方への経済支援をあまり知らないが、簡単に教えてほしい。ケアマネージャーも相談窓口になるが、居宅介護支援事業所にもパンフレットの配布予定があるか。

事務局：例えば、状況に応じて自立支援医療制度で医療費の自己負担額が軽減される場合や、障害年金を受けられる場合がある。パンフレットの配布先は、いただいたご意見を参考に今後検討する。

委員：愛カード事業について説明を追加する。岡山市が令和3年10月からハレカハーフという、障害者や高齢者を対象とした交通機関の割引サービスを行っている。今後、愛カード事業はそうした自治体と連携を強化していく。